

おのれ
 己手我を限いぬから、二意はど田部
 井君を逢ひ、依頼の事とを申し、
 とあるが、田部井君は工月を果てて二回
 の進展の程を私に申し、
 他人より少しも遅い様子に、暫く待つて候き
 候といひ、少しも遅い様子に、田部井君は念入りの
 裏の人にて、軽快の力の上は猶いれ、
 一物もあらず、と申し候は、
 長、いよいよ、
 物はおれ十日の程井君を打扱ひ、
 一つ二つ化

二つ三つは伊東人等、
 申は化けり、十日の程、
 ひと、おれ、
 し、いよいよ、
 とと、
 おれ、
 細田源光様

何事か
 湯端 五九
 野村胡堂

おれ三つ